

白磁瓜形瓶

料金後納
ゆうメール

田村文宏展 アジアの純真

2015年3月14日(土)～24日(火) 会期中無休

営業時間 11:00～18:00 作家在廊日 3月14日(土)・15日(日)

田村さんの器の背景には、東南アジアの古陶磁があります。それは何故なのか？理由の1番目「接点」。大学時代にアジアを旅して、現地で手仕事のある暮らしに触発されたことが、陶芸を志すきっかけになりました。その後、カンボジアで窯造りの手伝いを経験した際に、この周辺の古い窯跡で見た陶片や古陶に感化されました。理由の2番目「様式」。中国南部に位置するインドシナ半島は、古くから中国陶磁の影響を強く受けました。やがて時を経てこの地域らしい独自のスタイルを生み出します。中国の極めた技巧に対して、やや緩みのある寛容さが東南アジア古陶磁の魅力です。この大らかな風土からくる器の姿に魅せられています。そして理由の3番目「真心」。愛すべき現地の人たち。素朴でいてその根っこにある力強さ。飾り過ぎず朴訥としながら、深いところから沸き起こってくる純真さが、生活の道具の美を湛えています。これこそが田村さんが求める器の姿なのです。当店で3回目となる個展です。当初より作風の幅も広がり、そして深化しています。作り手の成長と継続性を、ぜひこの機会にお確かめ下さい。

店主

プロフィール

1978年 愛知県岡崎市生まれ

2000年 東南アジア・インドへ遊学

2004年 瀬戸窯業高等学校陶芸専攻科卒業

2005年と06年 ホンジュラス共和国にて窯業サポート

2010年と12年と14年 カンボジアにて窯造りの手伝い

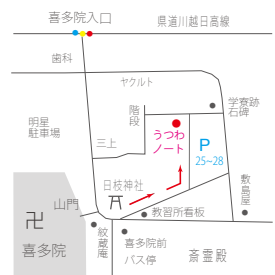
2015年 現在、愛知県岡崎市で制作

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6

TEL 049-298-8715

MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：川越駅東口3番乗り場
[小江戸名所めぐり]乗車～[喜多院前]下車
車：専用駐車場有(25～28番)



鉄絵魚文鉢



白磁印花変形皿



灰粉引壺



鉄釉印花鉢



白磁瓢箪形壺



灰粉引鉢



黒釉碗



白磁輪花鉢